

第 25 回 通常総代会決議

<協同組合の原点に立ち、新たな事業運動の発展をめざします>

組合員の皆さん

冬場の灯油、電気料金、そして生活必需品の値上げは止まらない状況になっています。これはロシアのウクライナ侵攻などによる飼料・原料などの影響によるものです。いつ終わるともわからない戦争で世界の物価高と人々の生活破壊、更に自然破壊と打撃を受けています。その打撃は、一般家庭だけではなく事業所なども影響が出てきており、立ち直ることが出来ずに倒産に追い込まれた事業もあります。本当に深刻な波が国民に押し寄せてきています。

小規模多機能型居宅介護事業所いろり庵こぶしは今年 6 年目を迎えます。これまで職員が丸となり取り組んできた成果が実り、地域に開かれた事業として形となり、利用者の介護度が改善した例も出てきています。しかし、そのことで介護報酬の減収になったり、仕入れ食材の値上げや通所訪問用の営業車のガソリン高騰、光熱費の昨対比 130%など運営を圧迫しています。

泉中央老人福祉センターは、元気な高齢者の力を地域で発揮出来るようなボランティアが確立しつつあり、仙台市からも注目を浴びています。老人福祉センターの先進としてのボランティア運営を目指して、高齢協らしい新たな施策で取り組み、地域のセンターづくりを目指します。しかし建物は 47 年の歴史を迎えて、老朽化が始まり、修繕費の負担が増えてきています。仙台市の協力を得ながら修繕改善が必要です。

各地域の事業所は、引き続き組合員の力量に合わせた活動を展開しており、ひなたぼっこ石巻では地元の海産物の販売で地元を盛り立てる活動、そして介護予防活動に取り組むことを再度挑戦していきます。

東日本大震災からすでに 12 年が過ぎましたが、自然災害は日本中いたるところで発生しております。いついかなる場所で大災害が起きるとも限りません。原発再稼働の阻止をしなければ、日本のいたるところにある原発により「常に原爆を抱える島国」となります。日本政府は軍事拡大の予算立てをしています。自衛の為の武器を保持すれば、それに向けた攻撃も想定されます。平和であることが生活を守る何よりの原点です。今ある平和憲法を守り抜き、ウクライナ侵攻を早く終息させる為の運動、物価高騰を減らし、国民生活ととりわけ小さな事業所を守る施策を関係団体とともに取り組みをすすめてみましょう。平和で持続可能な社会をめざし、ひとりひとりの個性を活かして、自分らしく支え合い、共に生きる地域の実現に向けて一步を踏み出し、運動を展開していきましょう。

以上決議されました。(2023 年 6 月 18 日)